

シェイプアップ

徹底

# 生ごみの減量

生ごみ減量・資源化  
アドバイザー制度が  
スタート

スタート

生ごみ減量・資源化講演会の講師の方を『生ごみ減量・資源化アドバイザー（下記の4人）』に委嘱しています。

委嘱を受けたアドバイザーが、生ごみ処理機器の使い方などの相談に応じます。資源循環推進課へ電話（☎2998・9146）、FAX（☎2998・9394）、Eメール（✉a146@city.tokorozawa.saitama.jp）、手紙（〒359・8501市役所5階資源循環推進課）で連絡していただければ、後日、回答します。

生ごみ処理機器を買って  
奨励金をもらおう！

生ごみ処理機器などを購入し、生ごみの減量・資源化に取り組む方に対し、購入金額の2分の1（上限1万円）で奨励金を交付しています。

4月から、生ごみ処理機器の奨励金の交付を受けてから5年を経過し、機器などの不具合により使用できなくなった場合には、再度奨励金の交付を受けることができるようになりました！

目指せ生ごみ減量の匠

生ごみの減量・資源化に取り組む方を『所沢市生ごみ減量の匠』に認定し、ステッカー（左）を配布しています。



## 生ごみ減量・資源化アドバイザーに聞きました

電気やガスなどを使わず減量

生ごみカトラットアドバイザー・菊一敦子さん

生ごみカトラットは、水分を取った生ごみを、風通しの良い状態で保管する容器です。風通しの良いところで生ごみを乾燥させることで、20〜30%の水分が蒸発し、悪臭が発生せず衛生的です。

私の家では、生ごみカトラットを軒下に吊るしています。生ごみの嫌な臭いは、生ごみに含まれる水分が原因なので、流しの中に三角コーナーを置かないなど、できるだけ生ごみをぬらさないように扱います。生ごみを乾かすと臭いも軽減され、



生ごみを食べる くうたくん

生ごみくうたくんアドバイザー・高橋さち子さん

生ごみを食べてしまうので『くうたくん』と名前が付いています。くうたくんは、豚の腸内から抽出した消化酵素とおがくずを配合した物に、米のとぎ汁を適量混ぜ合わせて使用処理容器です。



処理容器の中で、生ごみと空気がよく触れ合うようにしっかりと混ぜると、元気に発酵してミネラルとガスで生ごみが消え、生ごみ特有の悪臭も酵素が分解するので、部屋に置いても臭いの心配はありません。

くうたくんからは、たくさん

無農薬で良質な堆肥作り

EMエコアドバイザー・吉田 満さん

EM生ごみ処理容器では、食べ物、花、草などの有機物を、EM（人や自然と共生する乳酸菌・酵母・光合成細菌などの有用微生物群）の工サとして好気発酵させることで、無農薬で良質な堆肥ができます。堆肥は菜園や花、果樹などの栽培に使用しますので、皆さんも始めてみませんか。

EMエコアドバイザー・吉田 満さん



段ボールで地球温暖化防止

段ボールコンポストアドバイザー・田沢真佐子さん

10年前の『段ボールを利用した堆肥の作り方』の講演会で、段ボールは、通気性が良く、水分調整に適していると聞き、自宅で試してみました。その手軽さと自然の不思議さを体験し、それ以来『段ボールコンポスト』の良さを講演会などで皆さんにお伝えしています。

然の森の中で行われていた落ち葉、倒木などが分解され土になっていく循環の姿が、この段ボールの中で再現されているようです。発酵が止まり、出来た堆肥をさらに熟成させることで、ミネラルたっぷりの堆肥ができます。堆肥は家庭菜園や庭の花などに利用しています。全ての家庭から出る燃やせるごみの約4割を占めている生ごみの処理に、大きなエネルギーと処理費用を使うことなく自家処理する方法として、ぜひお勧めします。



段ボールの中に米ぬか、腐葉土、もみ殻くん炭を入れ、野菜くず、果物の皮、茶がらなどをに入れて毎日かき混ぜています。微生物が有機物を分解することで温度が上昇し、毎日約500グラムの生ごみが分解されます。自分で、自